



EDEN 国語講座/第七回

【今回のねらい】

国語講座第七回では接続詞を学びます。

接続詞そのものの働きを覚え、文章をしっかり読むことによって文脈を理解し、適切な接続詞を入れられるようになりましょう。

問・次の接続語の意味をあとの語群から選んで答えましょう。

- | | | | |
|-----|------|---|---|
| 1. | だから | (|) |
| 2. | しかし | (|) |
| 3. | また | (|) |
| 4. | そして | (|) |
| 5. | つまり | (|) |
| 6. | ところで | (|) |
| 7. | または | (|) |
| 8. | たとえば | (|) |
| 9. | なぜなら | (|) |
| 10. | ただし | (|) |

語群【理由・並列・添加・選択・換言・転換・補足・順接・逆説・例示】

問・次の空欄に当てはまる接続語を答えなさい。

- 1、今朝は寝坊してしまった。()、朝ごはんを食べる時間がなかった。
- 2、寝坊してお母さんに怒られた。()、先生にも怒られた。
- 3、今日は寝坊してしまった。()、きのう夜ふかしをしたからだ。
- 4、夕飯はお肉がいい？() 魚がいい？
- 5、ペンギンは魚、() オキアミを食べる。
- 6、彼はとてもやさしい。()、よく寝坊する。
- 7、今回のテストはほとんど勉強しなかった。()、百点を取った。
- 8、ペンギンは魚が大好きです。()、アシカは何を食べるのでしょうか。
- 9、ぼくはイケメンだ。() 吉沢亮のようだ。
- 10、クモは足が8本あります。()、昆虫ではありません。

問・次の空欄に当てはまる接続語を答えなさい。

1、 たくさんの仲間と集団で過ごすのは楽しい。集団で過ごすということは、その集団の中に自分が確かに存在しているという安心感を私たちに与えてくれる。()、同時に、みんながみんな自分の意見に賛成してくれるわけではなく、また、自分の喜び、自分の悲しみ、自分の疑問といったものを、みんなが必ずしも受け入れてくれるとは限らないため、集団は、私たちにとって不満や不安のきっかけにもなりうる。
()、集団は、私たちに安心と不安とを同時に与えるものなのである。

2、 食料が我が家に届くには、生産者の存在が必要だし、運搬業者も小売業者も必要だ。() 行政のあり方として、生産者や運搬業者、小売業者が連携できるように働きかけるような試みがあってもよいのではないか。

3、 自分のしたことを否定されたり、注意されたりすると、人は弱くなる。(中略)他人に自分のしたことを否定されると、自分に自信がなくなる。精神的に不安定な自己が確立されるのだ。
() 注意されると、自分が間違えたと思い、積極性がなくなる。自ら動くことにためらいが感じられるのだ。

4、 クラシックでもポップスでも、音楽というものは、多くの人の心を落ち着かせてくれたり、元気にさせてくれたりするものであり、生活を豊かにしてくれるものだ。()、私たちは、さりげなく花を飾るときのようにさりげなく生活のなかに音楽を取り入れようとする。

5、 僕たちの住むこの世界には、たくさんの問題があふれています。()、難民問題、各地における宗教的な対立、経済格差による貧困など、挙げればきりがありません。中でも()、地球環境の保護は、世界全体で取り組むべき緊急の課題です。今まで、人間は土地をお金で買って、自分たちの所有物にすることはかりに一生懸命になってきたような気がします。()、それでは地球は単なる資源として利用されて傷つくばかりです。これから、僕たち人間がやるべきことは、欲を忘れて分け合うことです。動物や植物や昆虫たちと一緒に地球という場所を分け合って、()、ひとつの生物として、謙虚に生きることなのです。